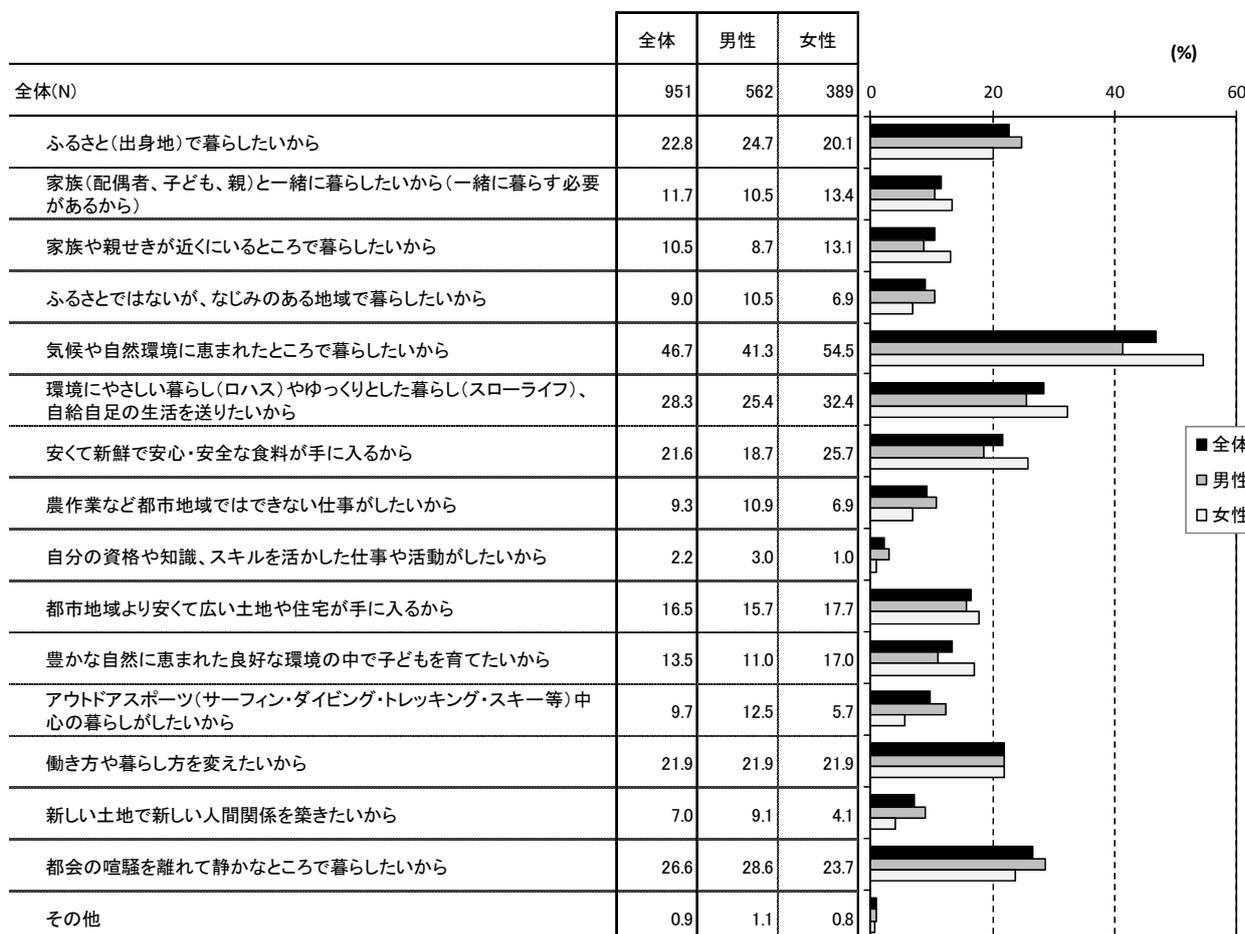
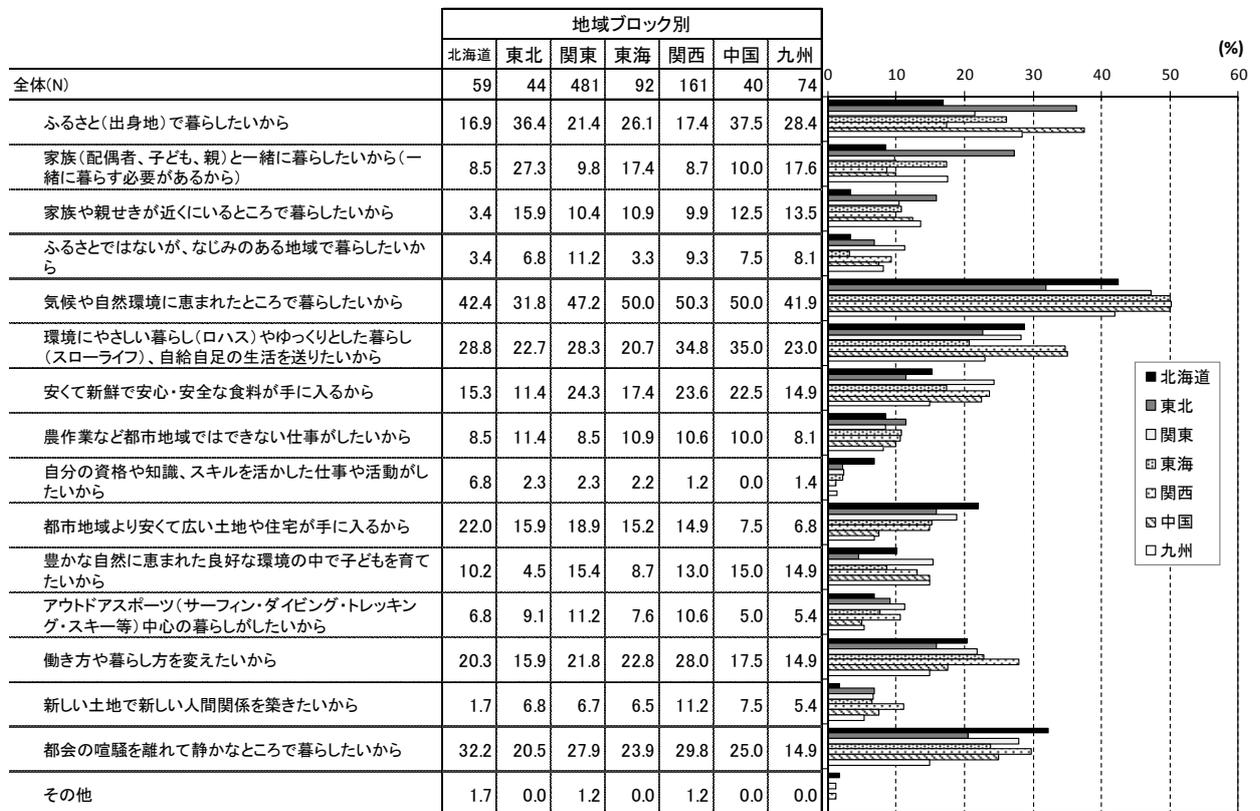
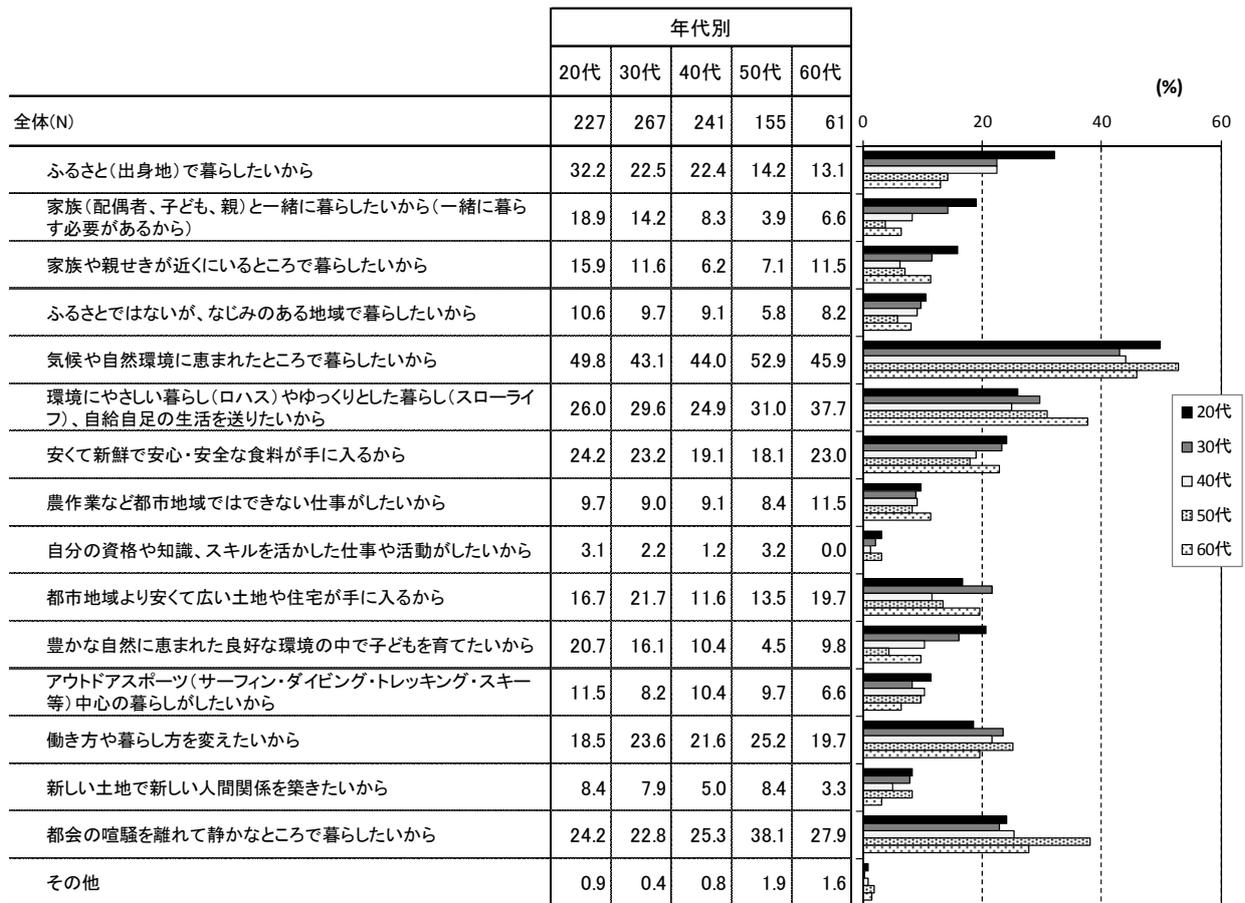


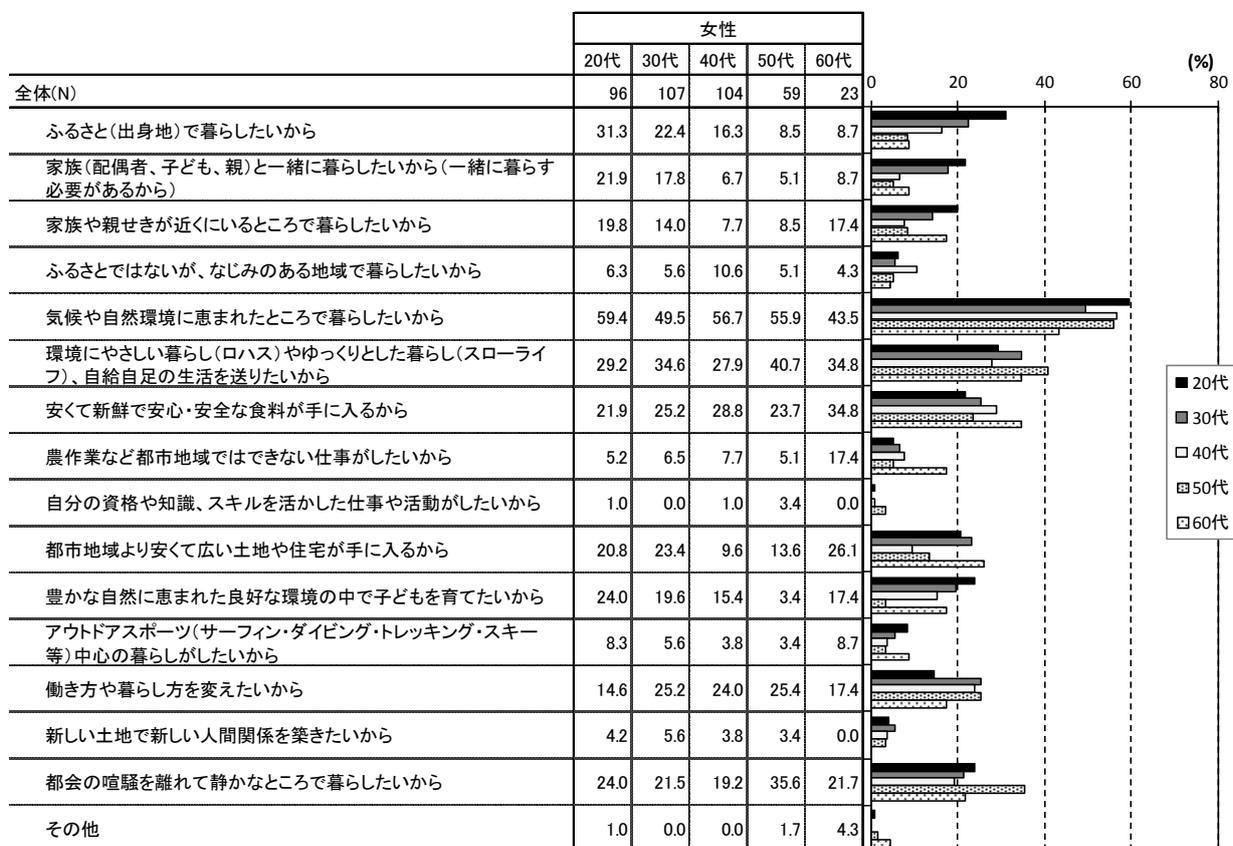
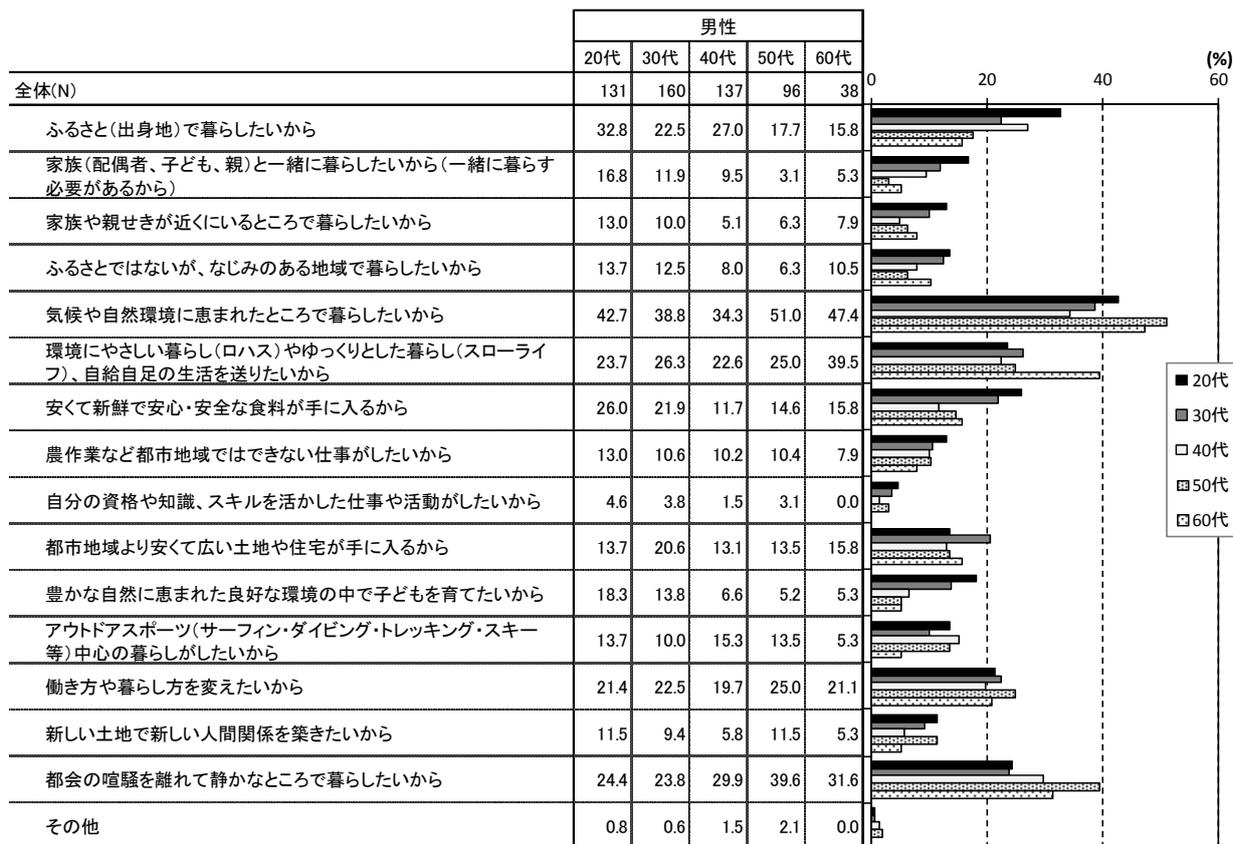
「田園回帰」に関する調査研究中間報告書（平成29年3月）第2章 都市部の住民の意識調査（抜粋）

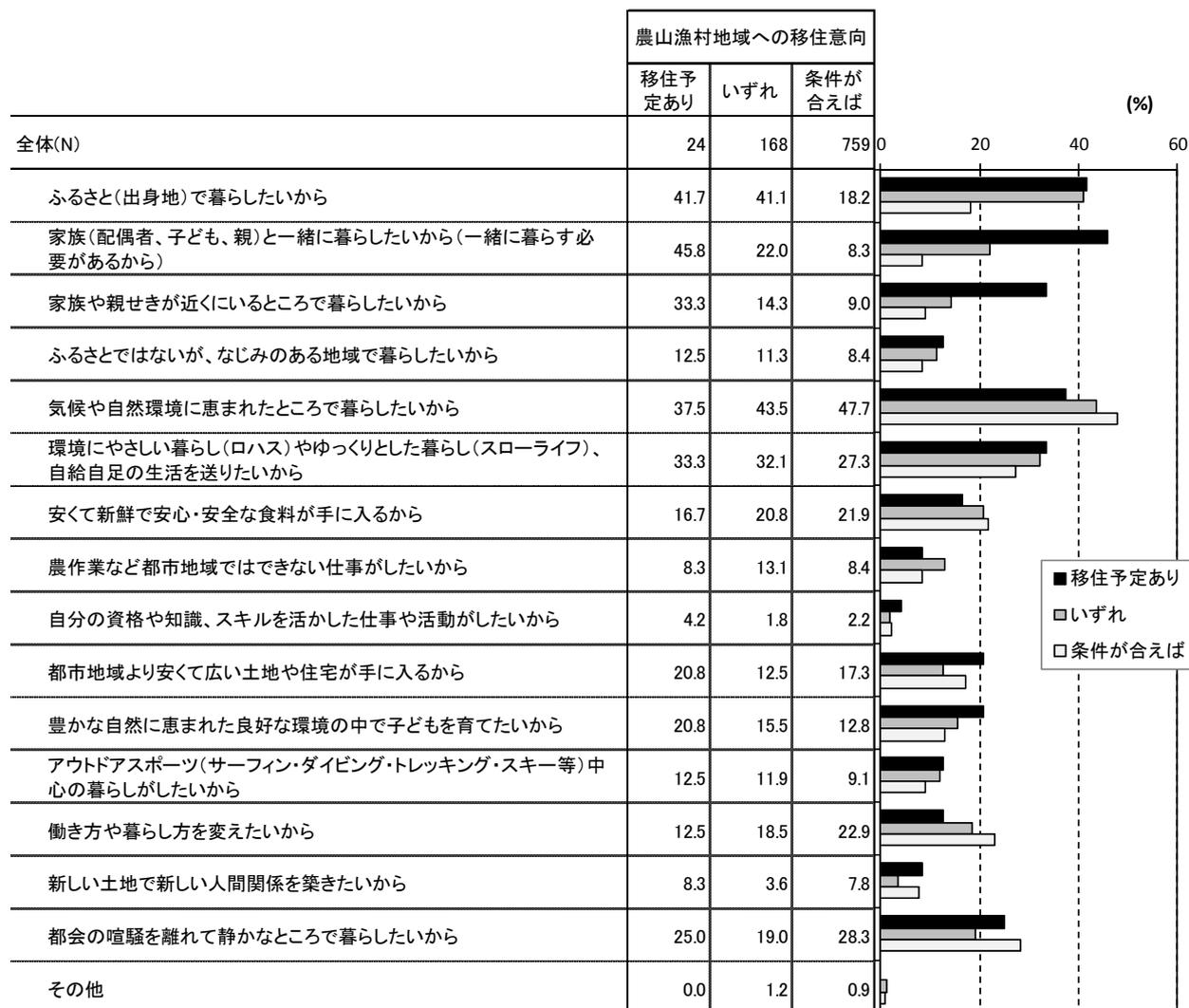
問13. あなたが農山漁村地域に移住したいと思う理由は何ですか。（〇はいくつでも）

- ▶ 全体では、「気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいから」が46.7%であり最も高く、次いで、「環境にやさしい暮らし（ロハス）やゆっくりとした暮らし（スローライフ）、自給自足の生活を送りたいから」が28.3%、「都会の喧騒を離れて静かなところで暮らしたいから」が26.6%と続いている。
- ▶ 男女別でみると、「ふるさと（出身地）で暮らしたいから」は男性の方が、「安くて新鮮で安心・安全な食料が手に入るから」は女性の方が高い割合となっている。
- ▶ 年代別でみると、50代では、「気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいから」が5割以上、「都会の喧騒を離れて静かなところで暮らしたいから」は4割近くあり、他の年代と比べて割合が高い。また、若い世代ほど「ふるさと（出身地）で暮らしたいから」の割合が高い。
- ▶ 性別・年代別でみると、男女ともに全ての年代で、「気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいから」の割合が最も高い。次いで、40代及び50代男性では、「都会の喧騒を離れて静かなところで暮らしたいから」が、30代、50代及び60代女性では、「環境にやさしい暮らし（ロハス）やゆっくりとした暮らし（スローライフ）、自給自足の生活を送りたいから」の割合が高い。
- ▶ 農山漁村地域への移住意向の程度別でみると、移住予定がある者では、「家族と一緒に暮らしたいから」の割合が最も高く、次いで「ふるさと（出身地）で暮らしたいから」が続いている。また、条件が合えば移住してもよいとする者は、「気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいから」の割合が最も高い。









「移住予定あり」・・・農山漁村地域に移住する予定がある

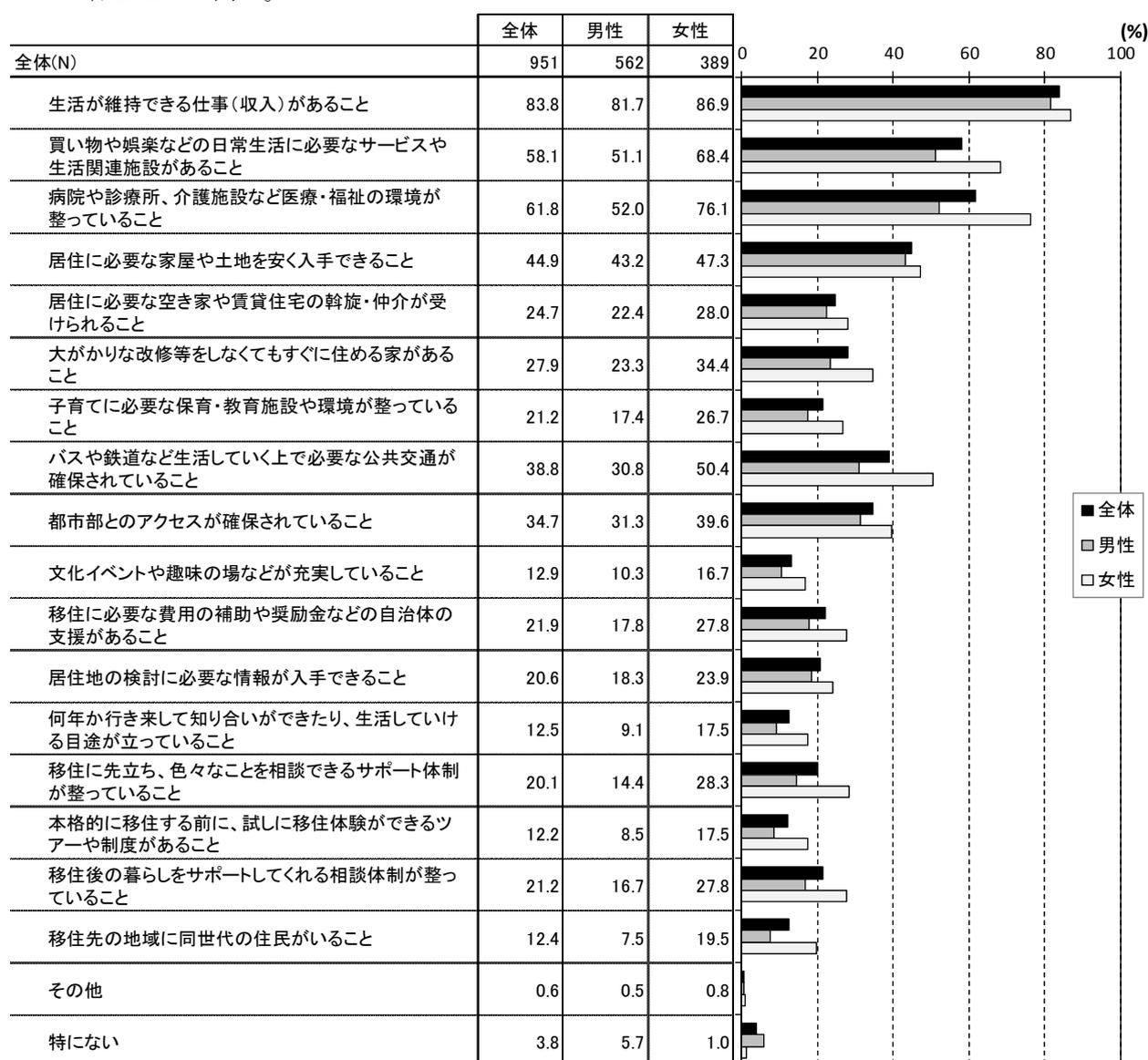
「いずれ」・・・いずれは(ゆくゆくは)農山漁村地域に移住したいと思う

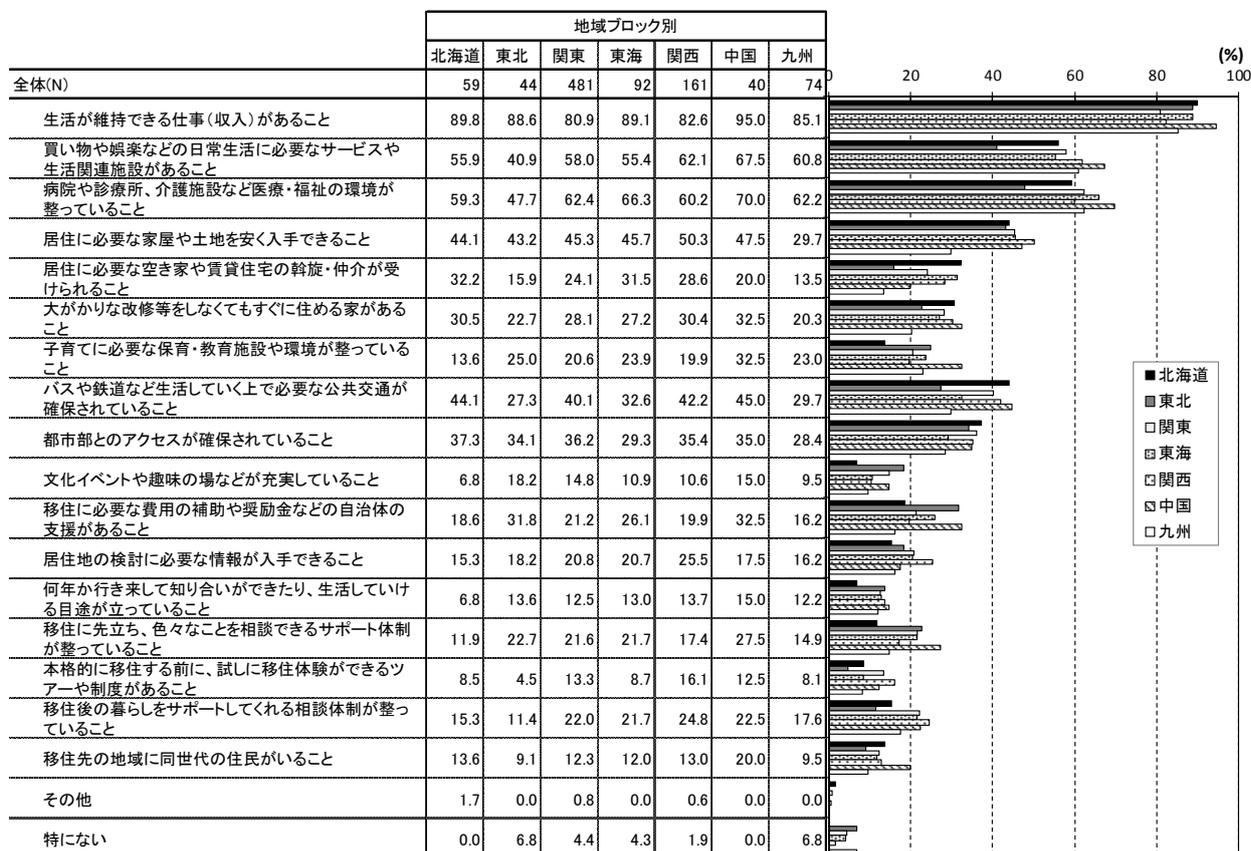
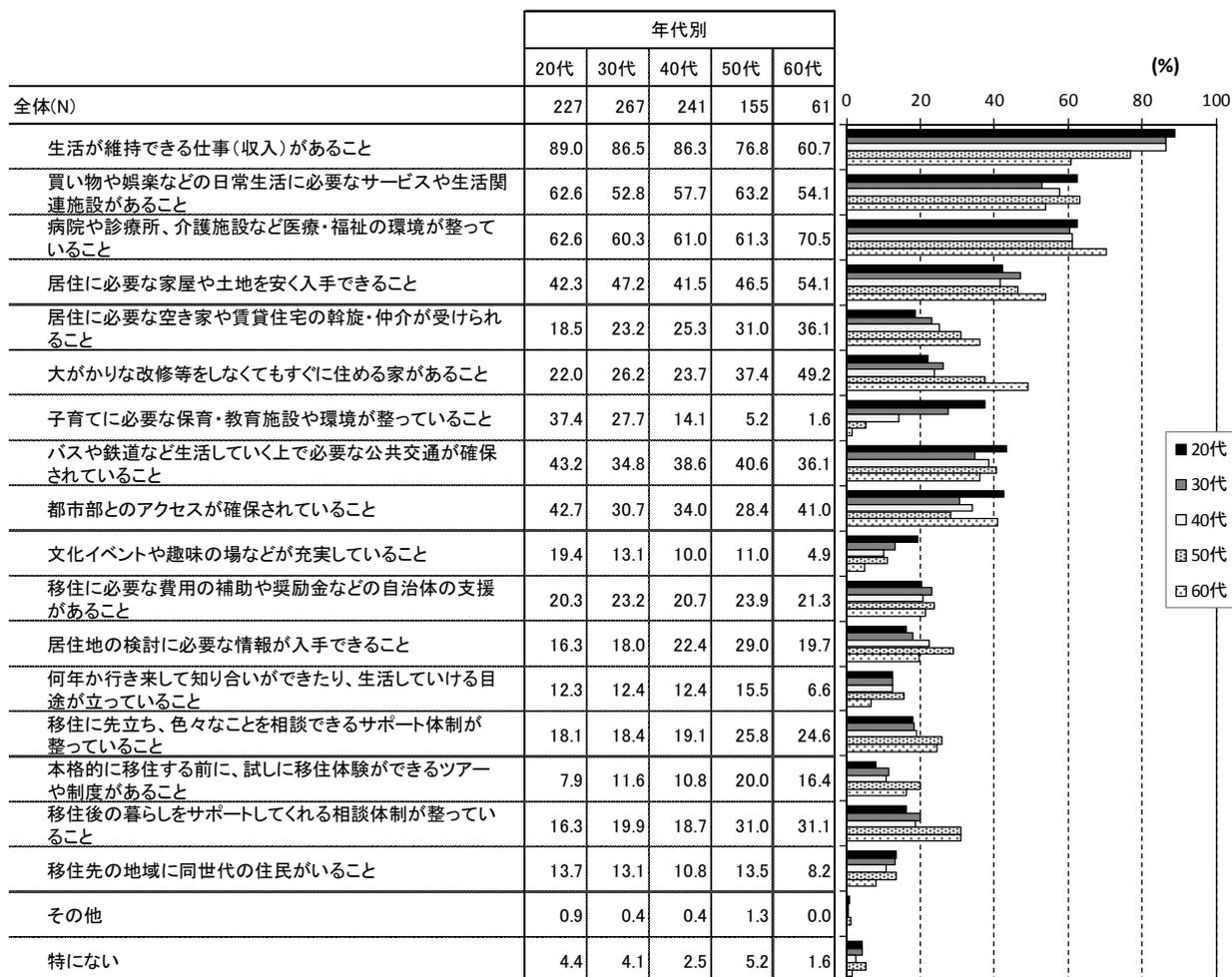
「条件が合えば」・・・条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う

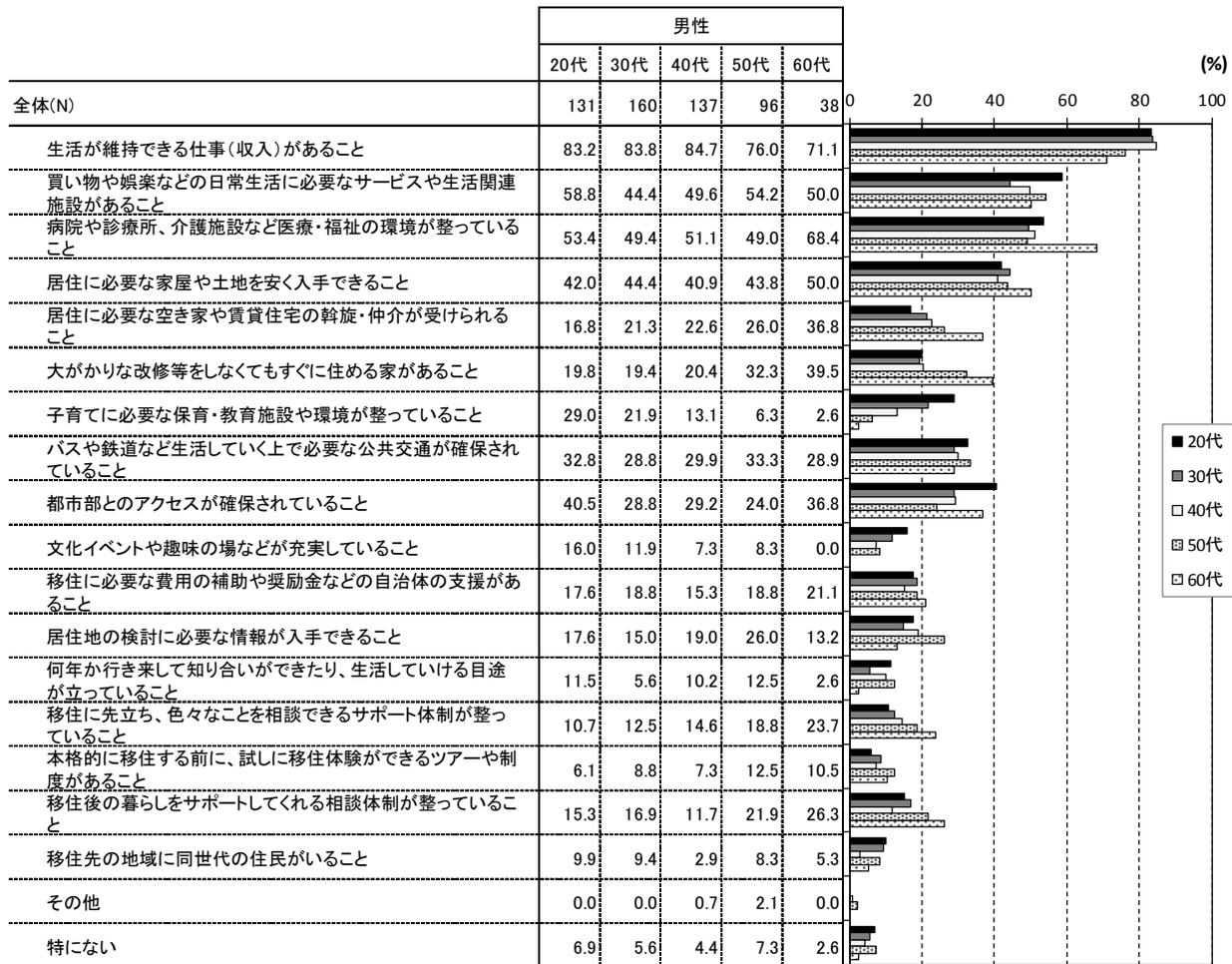
問 14. あなたが農山漁村地域に移住する上で必要な条件は何ですか。

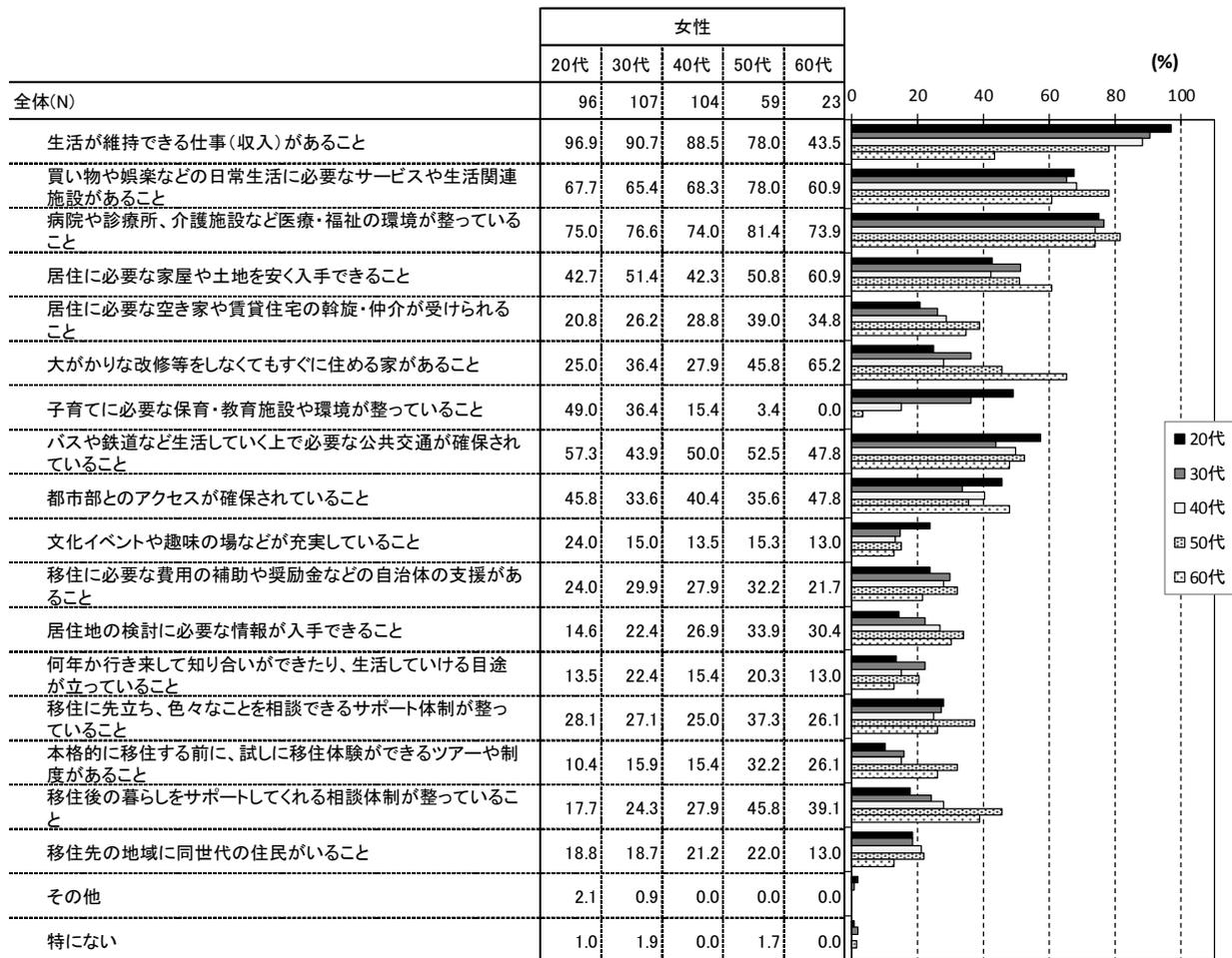
1. 農山漁村地域に移住する上で必要な条件をすべて挙げてください。(〇はいくつでも)

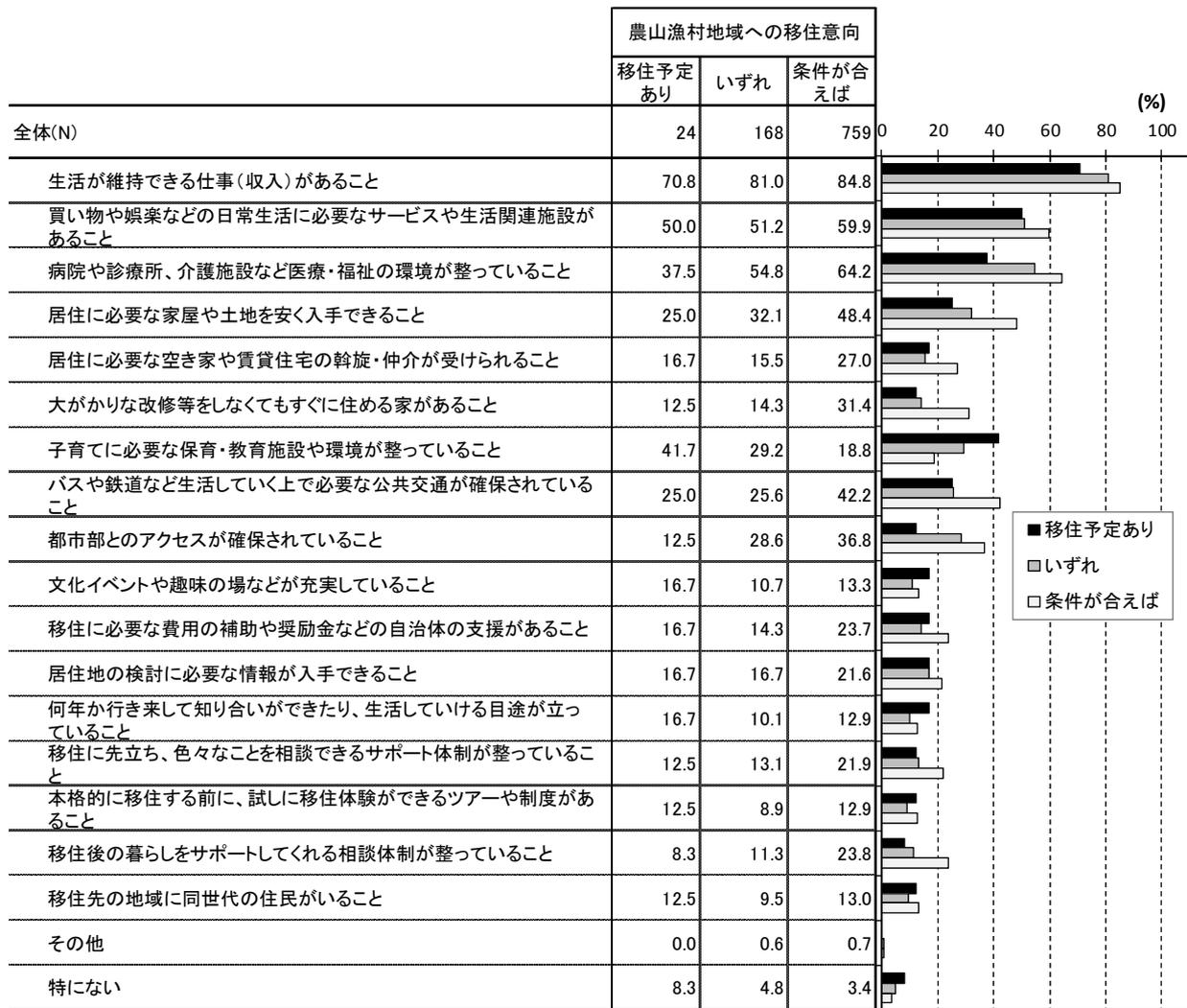
- ▶ 全体では、「生活が維持できる仕事（収入）があること」が 83.8%と最も割合が高く、次いで、「病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること」が 61.8%、「買い物や娯楽などの日常生活に必要なサービスや生活関連施設があること」が 58.1%と続いている。
- ▶ 男女別で見ると、女性では「病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること」、「買い物や娯楽などの日常生活に必要なサービスや生活関連施設があること」及び「バスや鉄道など生活していく上で必要な公共交通が確保されていること」の割合が男性より高い。
- ▶ 性別・年代別で見ると、20代及び30代女性は「子育てに必要な保育・教育施設や環境が整っていること」の割合が同年代の男性と比べて高い。
- ▶ 農山漁村地域への移住意向の程度別で見ると、条件が合えば移住してもよいとする者は、「居住に必要な家屋や土地を安く入手できること」、「バスや鉄道など生活していく上で必要な公共交通が確保されていること」、「都市部とのアクセスが確保されていること」の割合が、他の移住意向の者と比べて高い。











「移住予定あり」・・・農山漁村地域に移住する予定がある

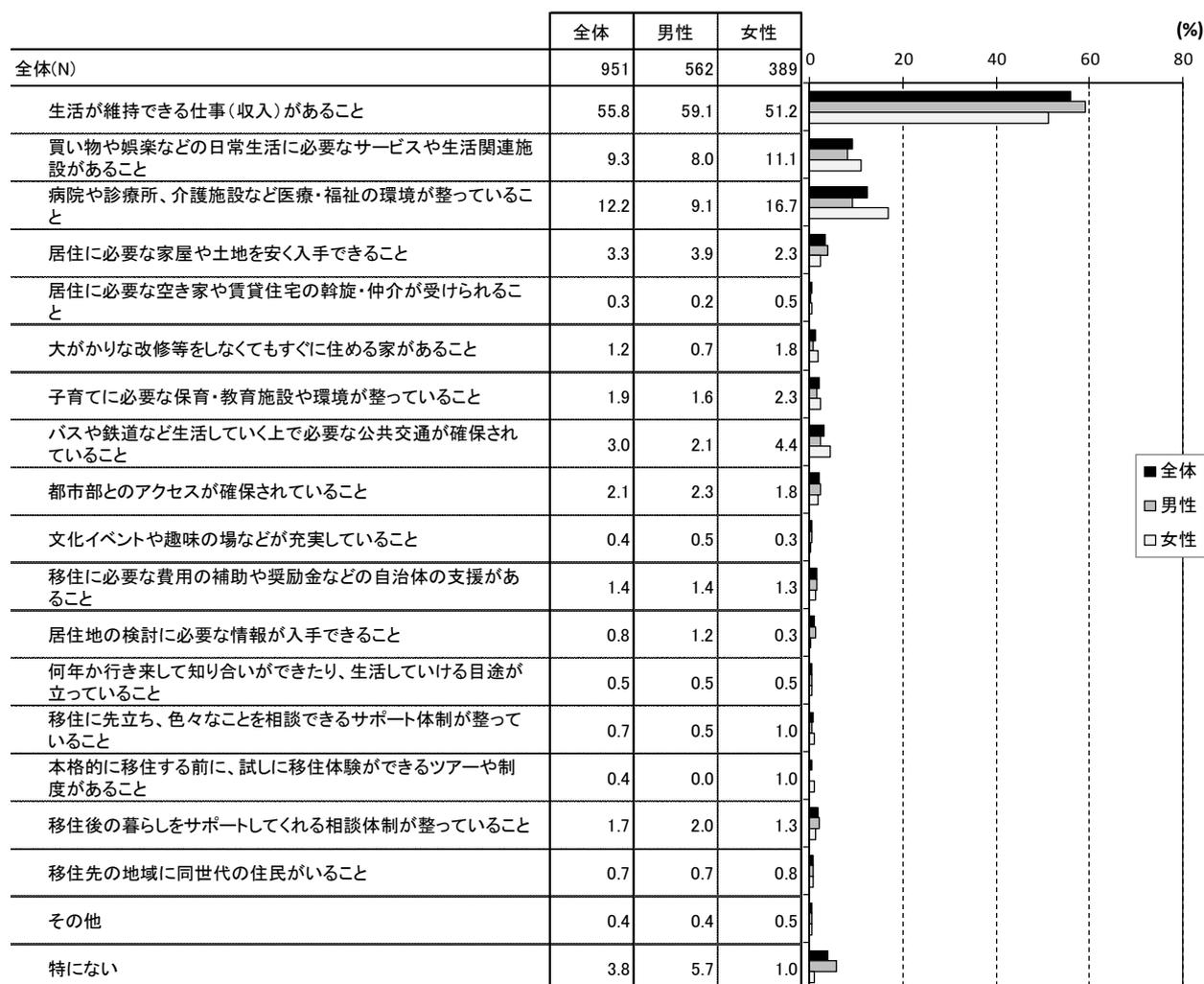
「いずれ」・・・いずれは(ゆくゆくは)農山漁村地域に移住したいと思う

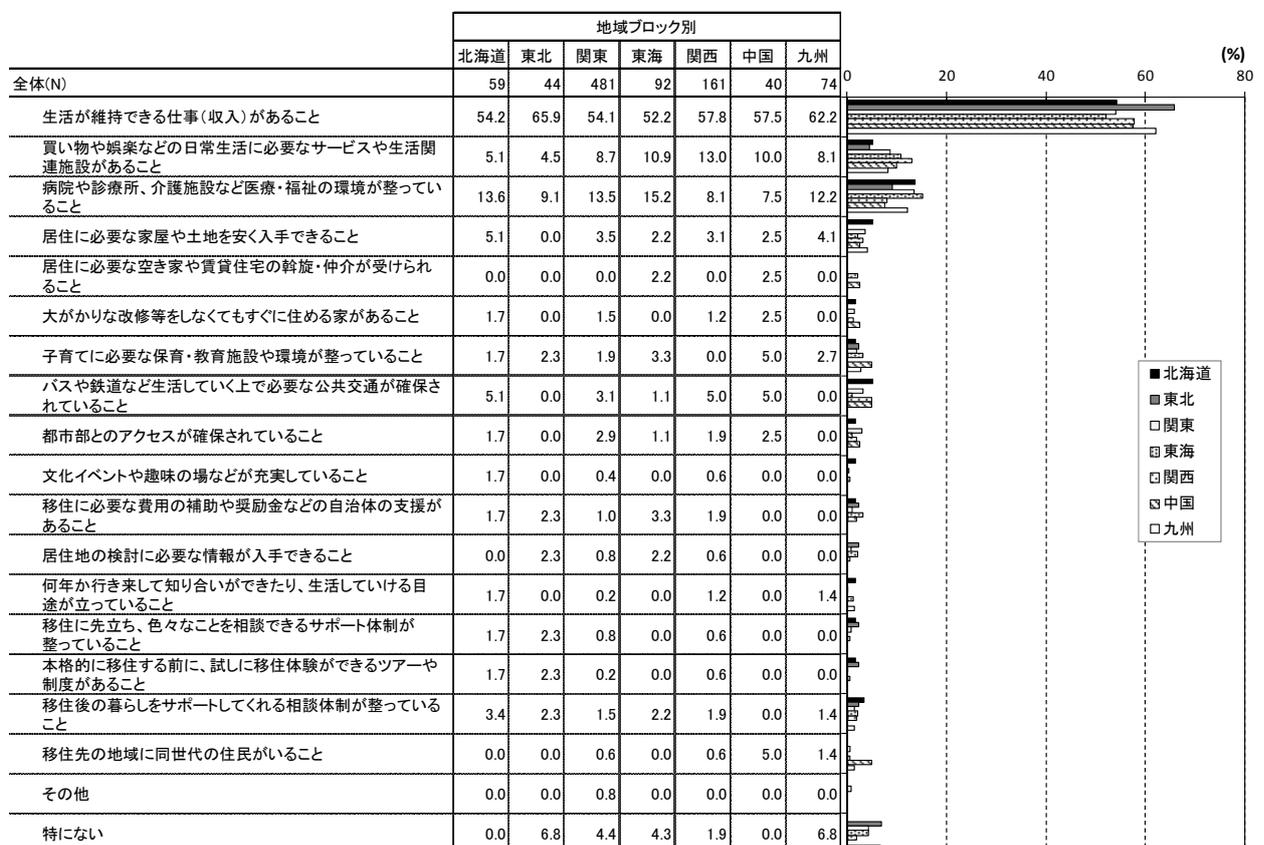
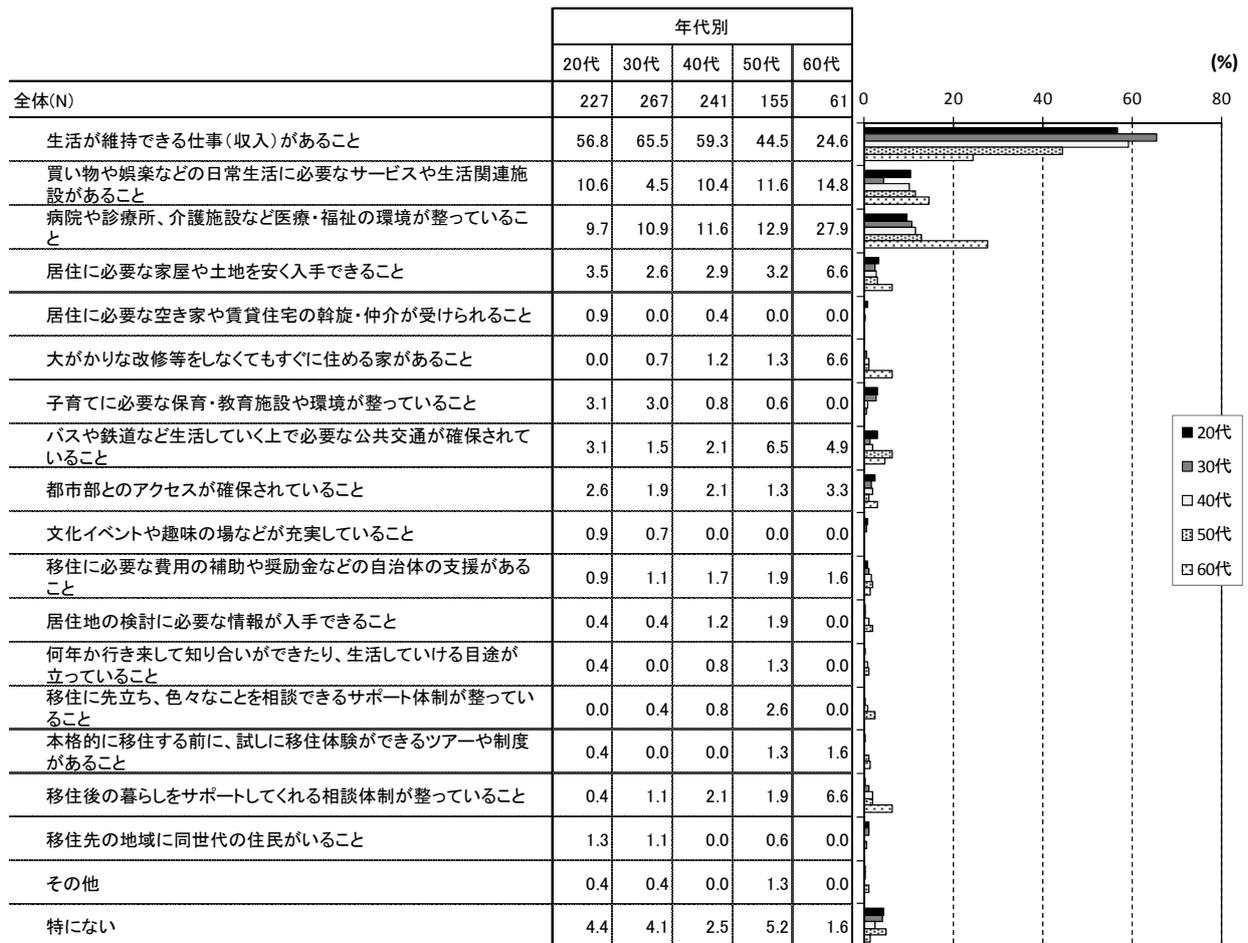
「条件が合えば」・・・条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う

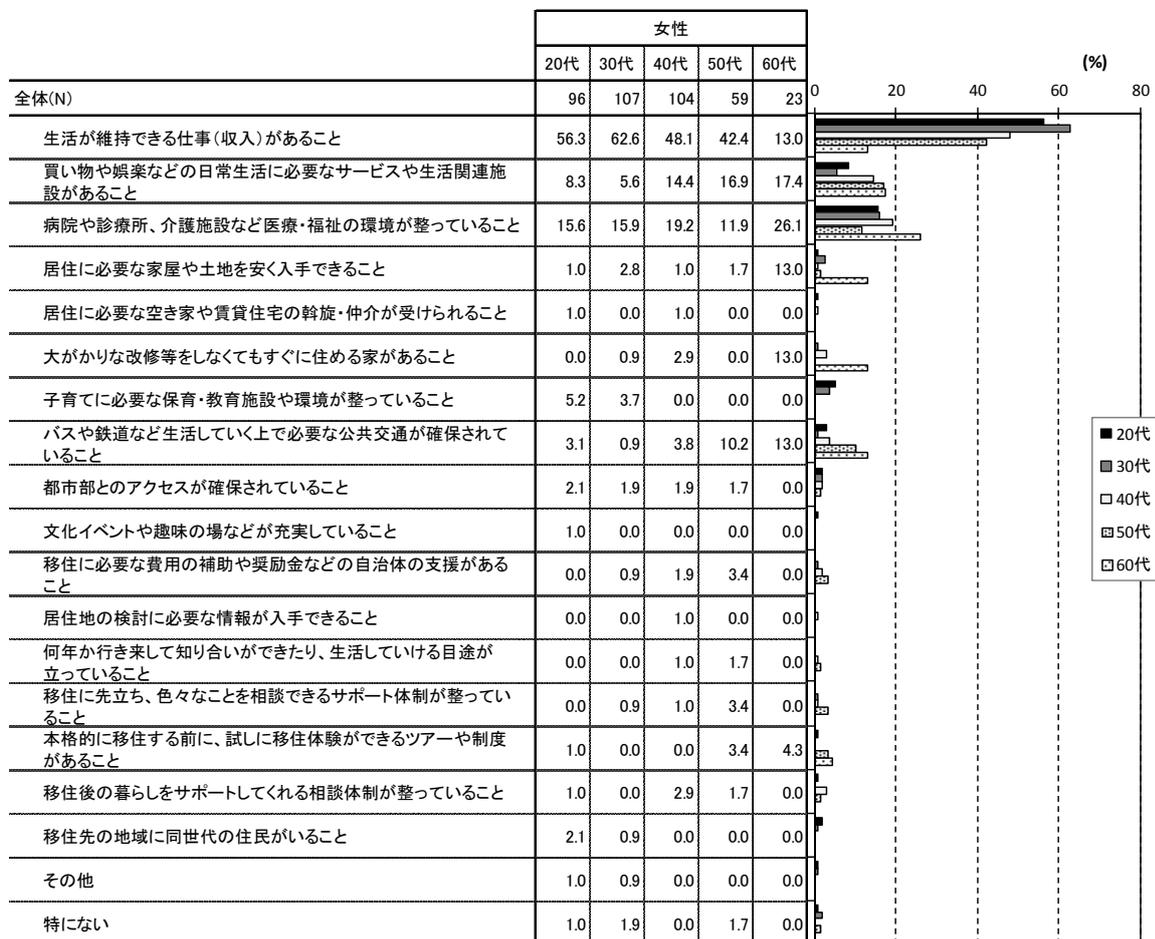
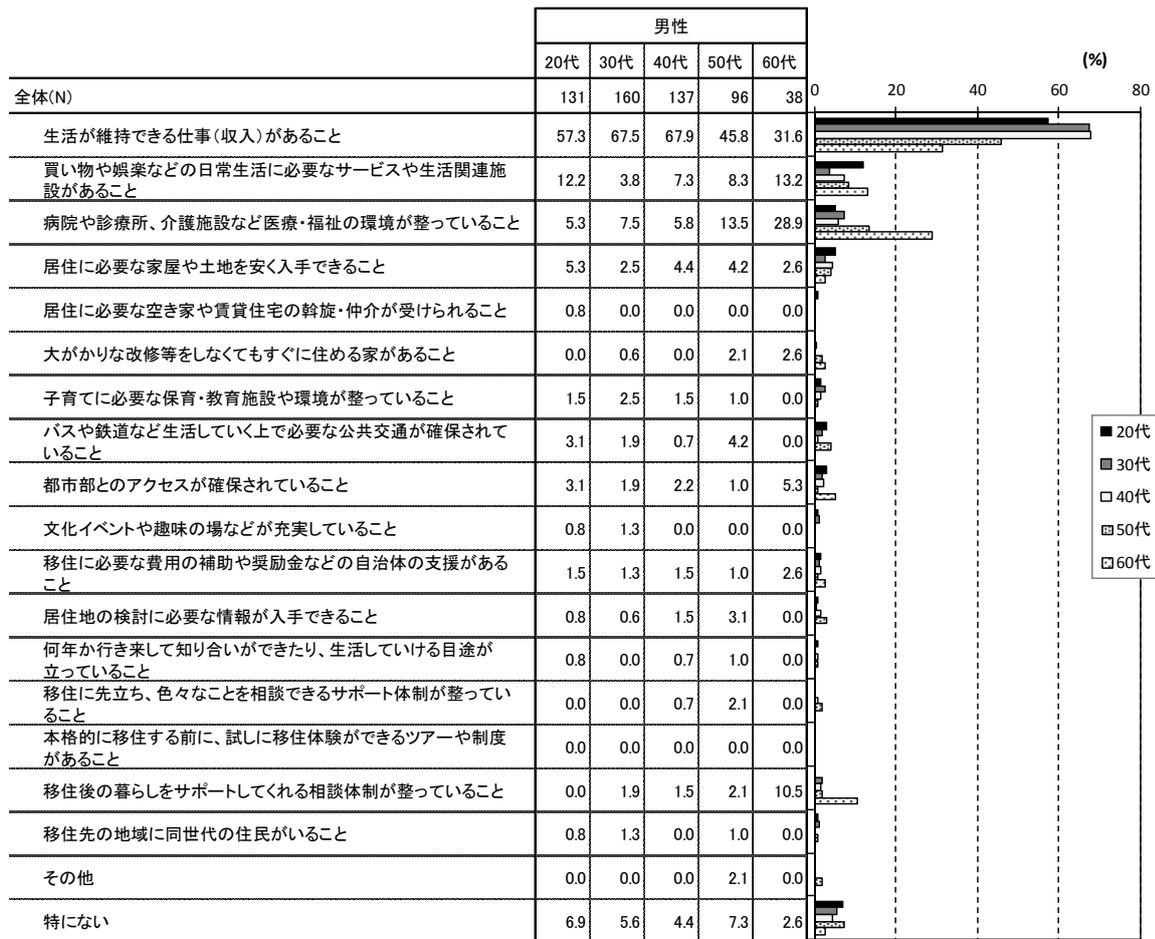
問 14. あなたが農山漁村地域に移住する上で必要な条件は何ですか。

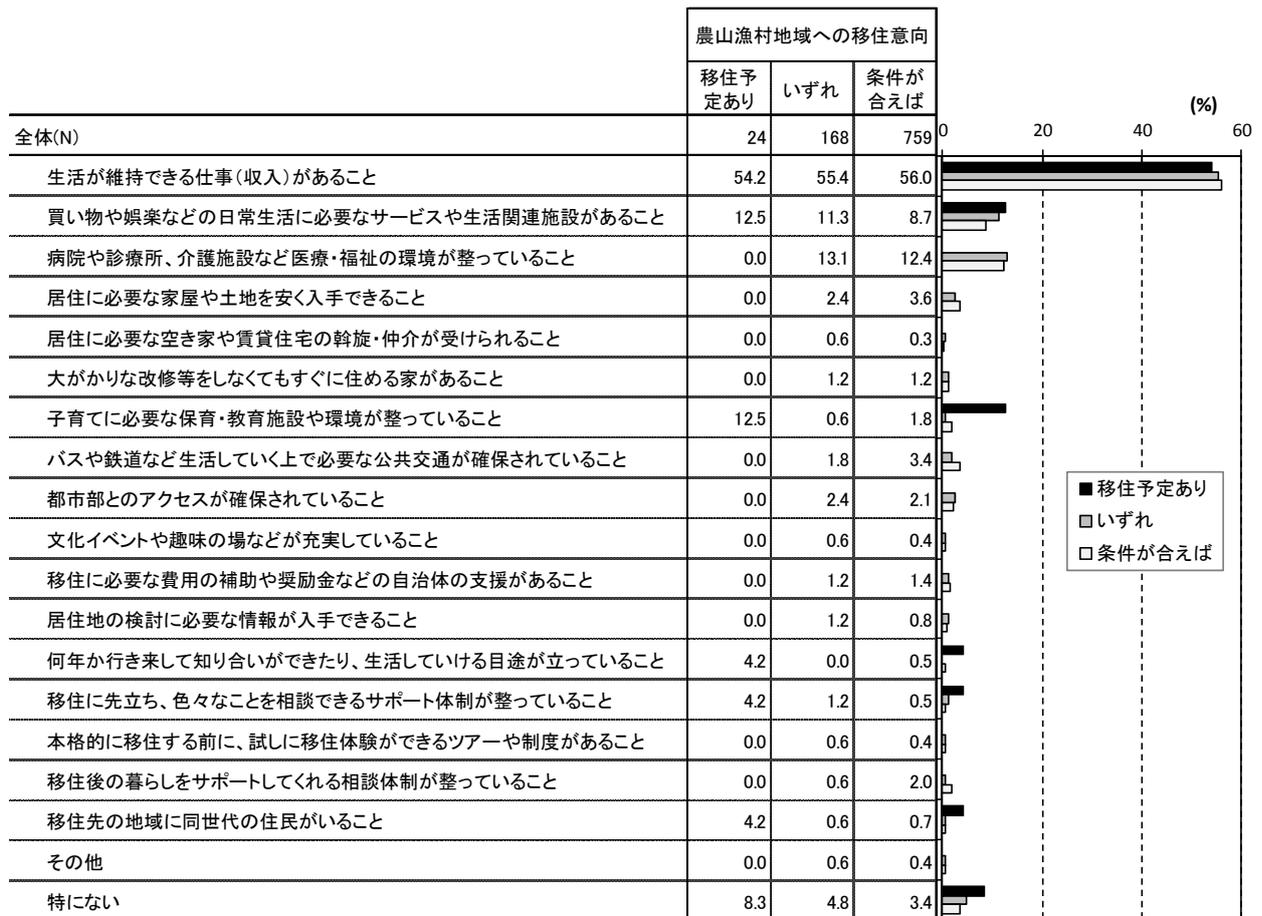
2. その中で、最も重視する条件をひとつ選んでください。(〇はひとつ)

- ▶ 全体では、「生活が維持できる仕事（収入）があること」が5割超あり、他の項目と比べると突出して割合が高い。
- ▶ 年代別でみると、「生活が維持できる仕事（収入）があること」は若い世代ほど高く、30代が最も高い。
- ▶ 地域ブロック別でみると、東北及び九州では、「生活が維持できる仕事（収入）があること」の割合が6割を超えており、他の地域ブロックと比べて高い。
- ▶ 性別・年代別でみると、20代～50代男女ともに、「生活が維持できる仕事（収入）があること」の割合が最も高い。また、60代女性では、「病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること」の割合が最も高い。
- ▶ 農山漁村地域への移住意向の程度別でみると、条件が合えば移住してもよいとする者は、「生活が維持できる仕事（収入）があること」の割合が最も高く、次いで、「病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること」が続いている。









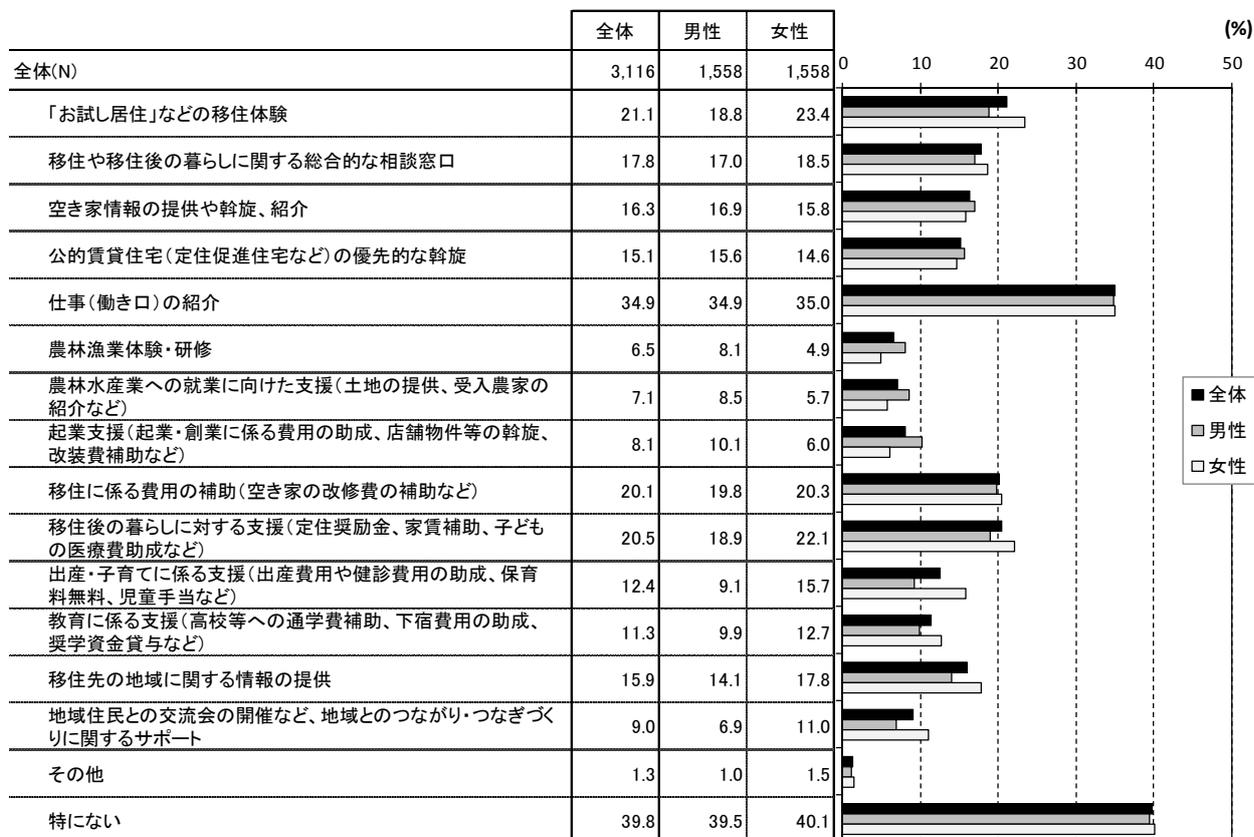
「移住予定あり」・・・農山漁村地域に移住する予定がある

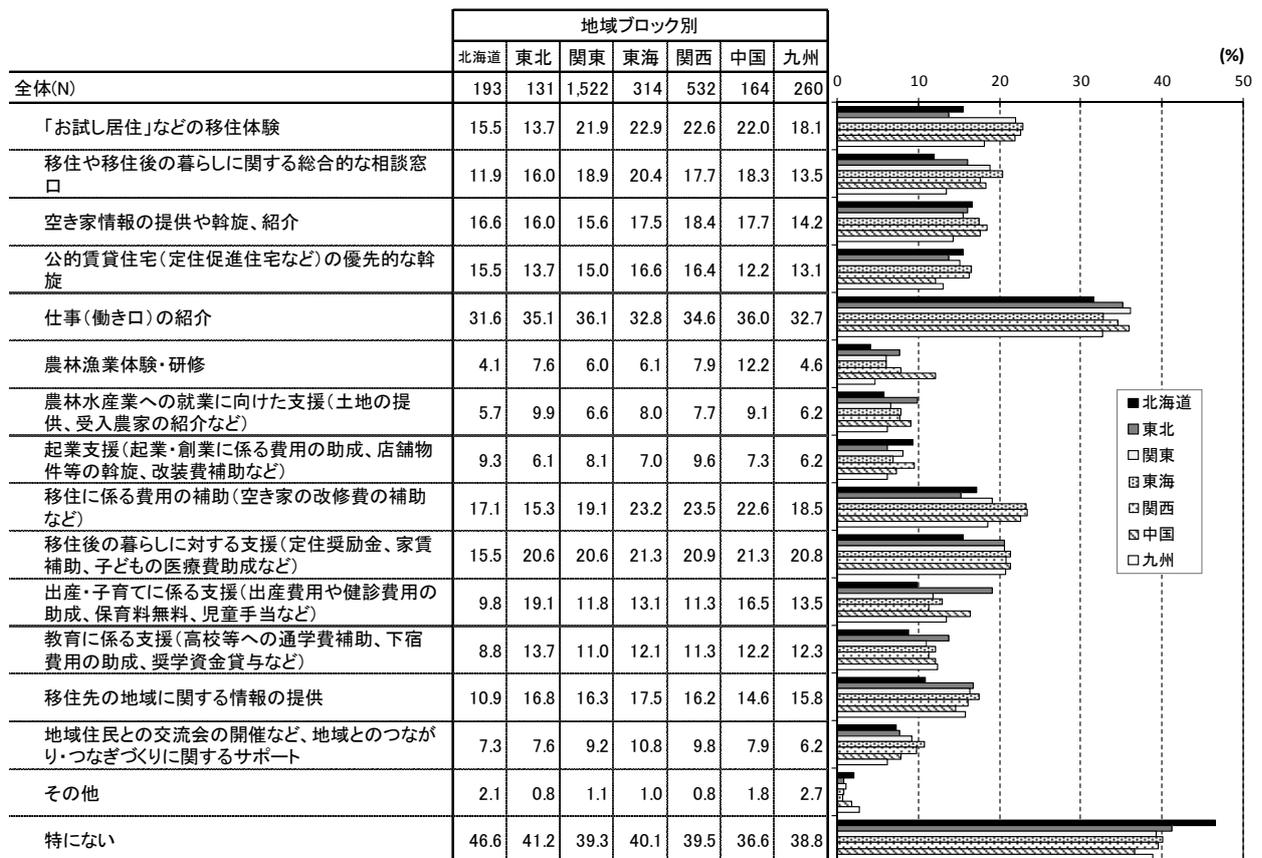
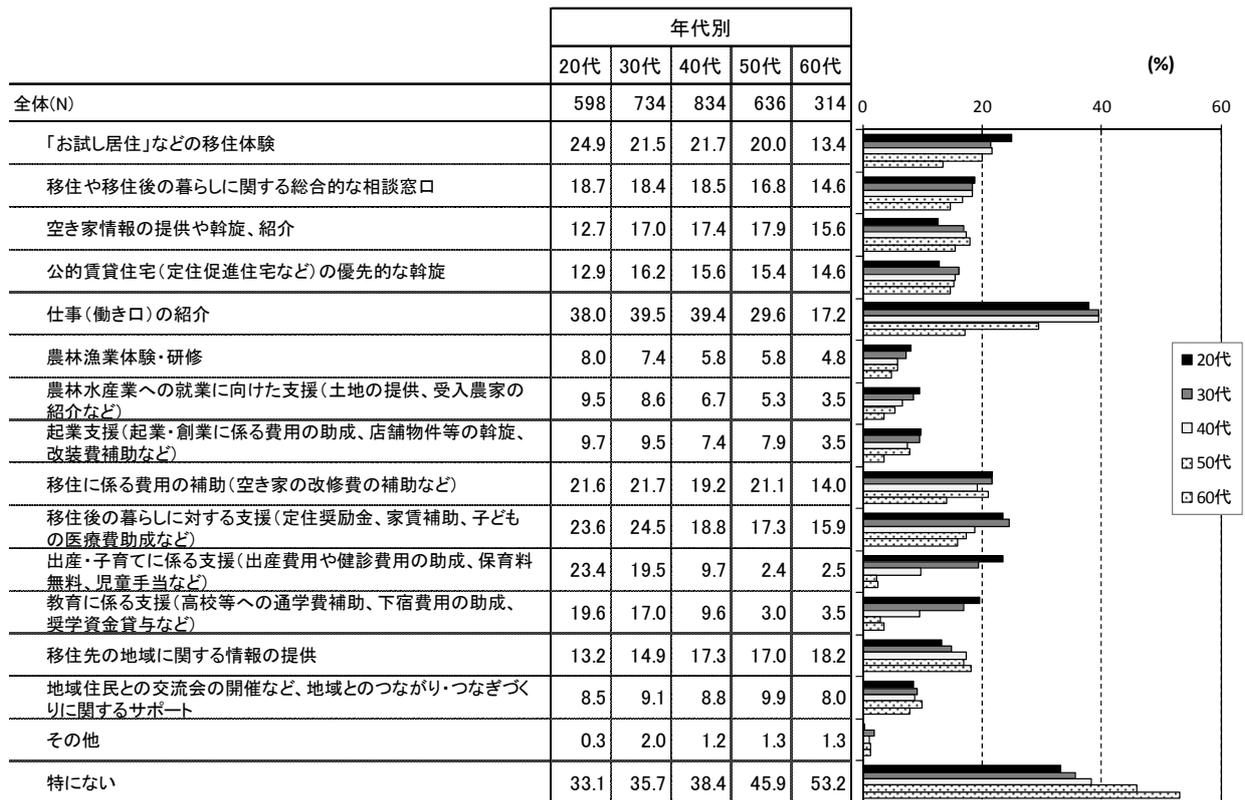
「いずれ」・・・いずれは(ゆくゆくは)農山漁村地域に移住したいと思う

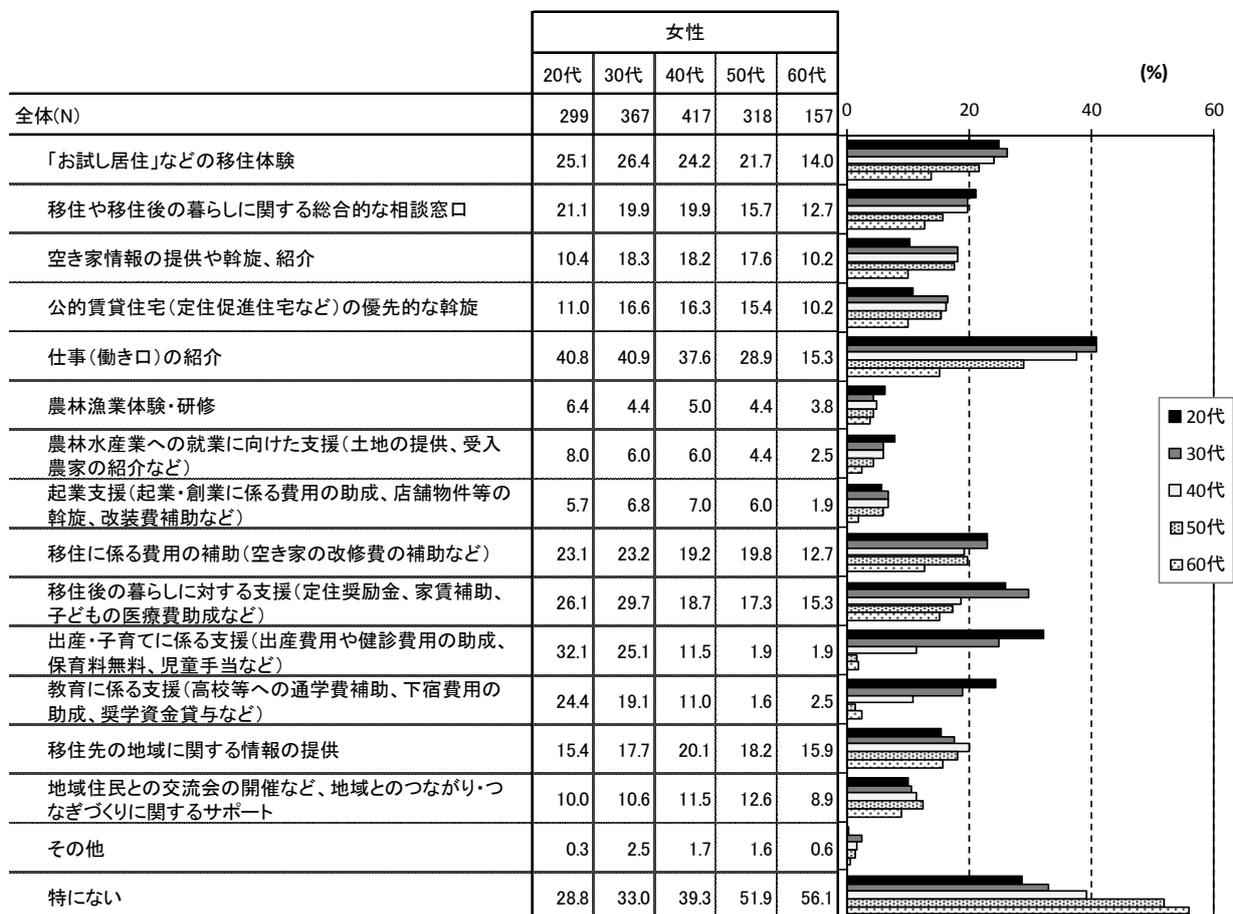
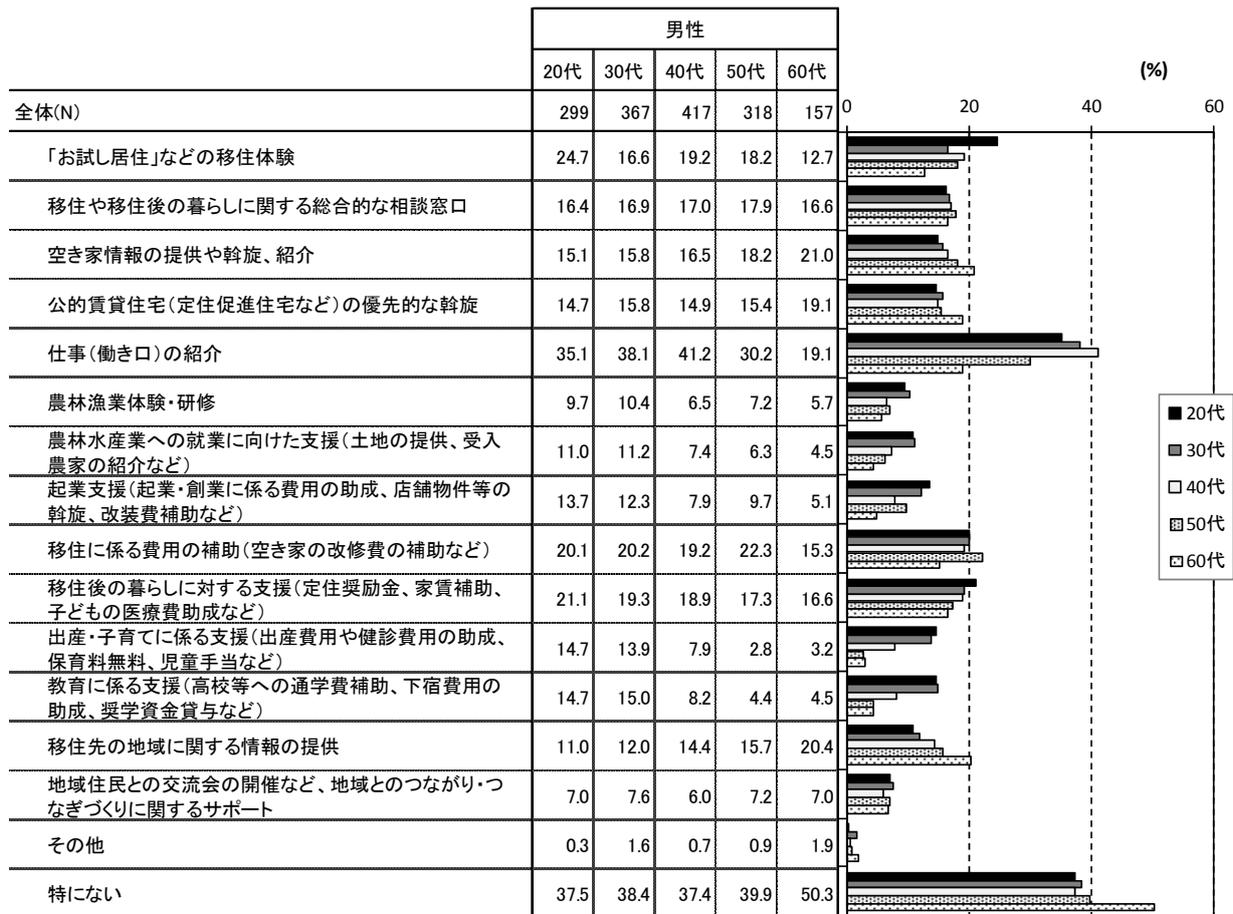
「条件が合えば」・・・条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う

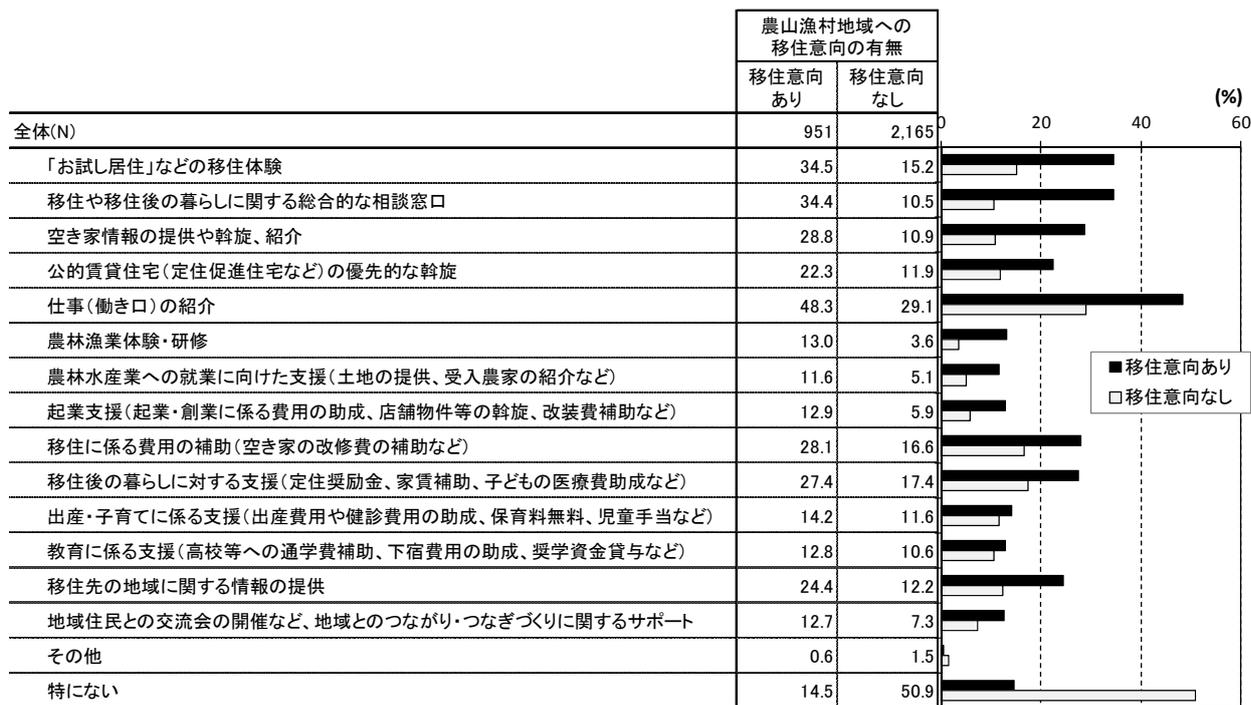
**問 19 あなたは、農山漁村地域の自治体がどのような施策を行ってれば、先ほどご回答いただいたような農山漁村地域への移住に対する不安や懸念が解消され、移住してみたいと思うようになりますか。
(〇はいくつでも)**

- ▶ 全体の中から具体的な施策をみると、「仕事（働き口）の紹介」が34.9%で最も割合が高く、次いで、「お試し居住」などの移住体験が21.1%、「移住後の暮らしに対する支援（定住奨励金、家賃補助、子どもの医療費助成など）」が20.5%と続いている。
- ▶ 年代別でみると、若い世代では、「仕事（働き口）の紹介」、「お試し居住」などの移住体験の割合が高い傾向にある。その一方で、年代が高くなるにつれ、「特にない」及び「移住先の地域に関する情報の提供」の割合が高い。
- ▶ 性別・年代別でみると、「特にない」を除くと、20代～40代の男女ともに「仕事（働き口）の紹介」が最も割合が高い。また、20代～40代の女性は、「出産・子育てに係る支援」や「教育に係る支援」など、ほとんどの項目で同年代の男性よりも割合が高い。
- ▶ 農山漁村地域への移住意向の有無別でみると、移住意向がある者は、各項目の回答の割合が移住意向のない者と比べて高く、「仕事（働き口）の紹介」が約5割で最も高く、次いで「お試し居住」などの移住体験、「移住や移住後の暮らしに関する総合的な相談窓口」と続いている。
- ▶ 農山漁村地域への移住意向の程度別でみると、条件が合えば移住してもよいとする者は、ほとんどの項目で他の移住意向の者と比べて高く、「仕事（働き口）の紹介」が5割以上で最も高い。また、「移住先の地域に関する情報の提供」の割合が高い。









「移住意向あり」・・・「農山漁村地域に移住する予定がある」、「いずれは(ゆくゆくは)農山漁村地域に移住したいと思う」及び「条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う」の合計

「移住意向なし」・・・「あまり積極的に農山漁村地域に移住してみたいとは思わない」及び「農山漁村地域に移住したいとはまったく思わない」の合計



「移住予定あり」・・・農山漁村地域に移住する予定がある
「いずれ」・・・いずれは(ゆくゆくは)農山漁村地域に移住したいと思う
「条件が合えば」・・・条件が合えば農山漁村地域に移住してみてもよいと思う